

第 3 学年総合学習指導案

3年1組 指導者 小林 弘典

単 元 川と魚と それからわたし

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

多角的に見る

2 本単元で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、地域に伝わる祭りや開催のための協働的な取り組みを知ったり、地域の発展に対する人々の願いについて考えたりした経験をもつ。このような子どもたちが、地域の川やそこに棲む生き物に関わりながら魚の棲む環境の在り方について考えていく。このことは、持続可能な視点から自然環境の在り方について考え、将来にわたって自然やそこに棲む生き物を大切にしようとする態度を養うことにつながるであろう。

本単元は、地域の川での校外学習の計画、採集活動や飼育活動、ビオトープづくりを行う学習である。子どもたちは、それぞれの活動において自ら課題を設定し、探究的に学習を進めていくであろう。問題解決に際しては、対象を多角的に見るという視点を大切にしたい。そうすることで、子どもたちが対象を多角的に見ることのよさを感じ、今後、様々な場面で対象を多角的に見ようとする姿が期待できる。また、そのような見方を獲得することは、身近な自然環境が、多様な生き物が相互に関わり合いながらバランスを保って成り立っていることへの気付きにもつながると考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 川での採集活動やビオトープをきれいにする活動を仕組む。そうすることで、それらの活動経験を基に、自分や魚、その他の動植物などの立場になってビオトープの在り方について考えることができるようにする。【創】
- ビオトープづくりの際は、どの立場で考えたのかを問う。そうすることで、自分の立場を意識してビオトープづくりに取り組むことができるようにする。【受】
- 多角的に見るという視点から学習や生活を振り返るよう促す。そうすることで、多角的に見てきたことが課題解決につながっていたことに気付き、身近な問題を多角的に見ようとするようにする。【転】

3 本単元の目標（自然環境）（動植物）

- 地域の川やそこに棲む生き物に関わったりビオトープをつくったりすることをおして、身近な自然環境が、多様な生き物が相互に関わり合いながらバランスを保って成り立っていることに気付くことができるようにする。
- 持続可能な視点から自然環境の在り方について考え、将来にわたって自然やそこに棲む生き物を大切にしようとする態度を養うことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○身近な自然環境が、多様な生き物が相互に関わり合いながらバランスを保って成り立っていることに気付いている。	○対象を多角的に見ることをとおして、課題解決に向けて考えている。	○ビオトープづくりをおして、自分と身近な環境との関わりを見直そうとしている。

5 指導計画（全 41 時間）

第 1 次 校外学習の計画を立てる（10 時間）

第 2 次 地域の川で採集活動を行う（10 時間）

第 3 次 ビオトープをつくる（21 時間）【本時 14/21】

6 本時案 【令和2年12月3日 10:20~11:05 3年1組教室】

- (1) ねらい ビオトープ内の環境について話し合うことをとおして、多角的な視点をもってビオトープの在り方について考えることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 ビオトープに入れるものについて話し合う。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多角的に見ること ・ビオトープに入るとよいもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回はビオトープが完成したね。 ・あれで完成したと言えるのかな。石や草を入れた方がよいのではないかな。 <p><u>A折角きれいにしたから入れたくないよ。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ビオトープには何か入れた方がよいのかな</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・石や草は、入れた方がよいと思うよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうして石や草を入れたいのかな。</p> </div> <p><u>B魚にとっては、石や草がある方がよいよ。</u> <u>隠れ場所になるからだよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚やヤゴのエサとなる小さな生き物にとっては、エサとしての草が必要だよ。 ・それなら、草にとっては土が必要だよ。 ・ぼくは、土で水が濁りそうで嫌だな。 ・でも、川には土があるし、魚や草にとって必要なものだと思うよ。 ・川と違ってビオトープは流れがないから、土を入れると掃除が必要になるのかな。石や草、土を入れてもよいのかな。 	<p>○前時のビオトープに魚を移した活動を想起させる。そうすることで、自分や魚の立場でビオトープに入れるものについて考えることができるようにする。【創】</p> <p>○ビオトープにもものを入れたいという発言があった際は、その理由を問い返す。そうすることで、自分以外の立場でビオトープをつくらうとしていることに気付くことができるようにする。【受】</p>
<p>2 本時の学習を振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多角的に見たことの自覚 ・ビオトープづくりの見通し 	<p><u>A自分の立場だと汚したくないけど、魚の立場で考えるときれいさだけではだめかもしれないね。</u></p> <p>B立場によってビオトープに入れるものも変わってきそうだな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚にとって棲みやすいビオトープにしたいよ。何を入れるとよいのかな。 ・そうだ。おさかなはかせに聞いてみよう。 ・早くおさかなはかせにビオトープについて聞いてみたいな。時間はかかるけれど、どんなビオトープができるのか楽しみだな。 	<p>○振り返りの場面では、どの立場で考えたかを問う。そうすることで、いろいろな立場で考えたことを自覚することができるようにする。【受】</p>

(3) 板書計画

12/3(木)④ ビオトープに入れるものについて考えよう。

魚の立場

- ・石
- ・水草
- ・草
- ・すな

たぐひ入れすぎない

エサになるかくれ場所

どくらい入れろ?

水草・草の立場

- ・土
- ・すな

どくらい入れろ?

自分の立場

入れるとよめる

せ、かくきれいにしたのに...

そうじゃ大変

立場によつて大切なものがかわる

そうじゃどうする? なくてもいい?

本当に入れた方がいいの?

- 水アツには入れていない
- 水野先生は...
- 水草や石は入れていた
- 土やすなは入れていなかった

水野先生にきいてみる

まだ完成していない!?

入れたいものがある